

2005年度 クリスマスコンサートを開催しました

中央検査科 紺谷 香織

2005年12月19日、月曜日。クリスマスコンサートが、一階の運動療法室で開かれ、バイオリンとギターのアンサンブル・ハーブの演奏が約40分にわたって行われました。

今回はハーブの演奏者として参加させていただきましたが、客席との距離の近さ。その後ろに並んでいる見慣れた職員の方々の顔。人前で演奏するのは何度も経験しているのですが、今まで最高の緊張感を味わったような気がします。

昼間は患者様がリハビリに励んでいる器具も少しの間引越して、椅子・ステージが設置され、天窓からは暮れていく空が見え、暖かい雰囲気の間がけができました。患者様も集まり、院長の挨拶の後、バイオリンとギターの演奏から始まり、クリスマスにちなんだ曲、聞き慣れたメロディーなどが流れ始めると、頭を揺らしながら聞いている方、眼を瞑りながら聞いている方、思い思いに楽しんでいるようでした。



次は自分の出番。どんどん大きくなる心臓の音と戦いながら「とにかく気持ちを込めて」と思いながら演奏しました。途中で、どのように聞こえているのかとても不安に感じました。最後の曲は「きよしこの夜」を伴奏し、皆さんに歌っていただきました。最初は「(近いなあ)」と思った客席との距離感も、終わってみるとお互いの空気が感じられて、とてもよかったなあとと思うことができました。

でき、また、伝える側の私が反対にパワーをもらったように感じました。今回演奏させていただき、日常の業務とは違った形で患者様とかわることができたことも、よい経験になりました。

最後になりましたが、楽器の搬入・移動など、お手伝いしていただいた委員会の皆様、他関係部署の方々、ありがとうございました。



外来紹介 Part16

歯科口腔外科

歯科口腔外科の診療体制

釧路労災病院歯科口腔外科は、1985年に開設されてから現在まで20年間、釧路市内を始め、道東の各地の口腔外科に関する診療をさせて頂いております。現在、歯科医師2名、看護師1名、歯科衛生士1名、歯科助手1名で診療を行っており、外来は歯科用ユニット5台、入院設備として4床のベッドを有しております。

当科では、口腔・顎顔面の炎症(智歯周囲炎・顎骨炎・上顎洞炎・唾液腺炎)、外傷(口腔内の裂傷・歯の脱臼・骨折)、顎骨内のう胞、自己歯牙移植、口腔粘膜疾患(口内炎や扁平苔癬など)、有病者(出血傾向がある、コントロール不良の糖尿病など)の抜歯、顎関節症、口腔に関する良性腫瘍や悪性腫瘍の診断治療などを行っております。

機関、民間病院などの紹介によるものです(院内他科よりの紹介もあります)。口腔外科疾患を中心に外来を行っておりますので、一般歯科処置は、かかりつけの歯科医院を紹介させて頂いております。もちろん入院患者様は入院中の暫間処置をさせて頂いております。

入院診療では、複数の埋伏歯の抜歯、骨折、顎変形症、多数歯抜歯、歯牙移植、顎骨内のう胞摘出、口腔良性腫瘍、口腔癌などの診断治療を行っております。手術は全身麻酔あるいは静脈麻酔で行っておりますが、対象疾患や手術術式、ならびに患者様のご希望により選択しております。

口腔外科の疾患に対しては必要性があれば、当科のみならず耳鼻咽喉科、形成外科、放射線科など関連各科との連携のもとに治療をすすめております。顎変形症では釧路市内の矯正科の先生方と連携し、治療を行っております。また、最近話題の歯科インプラント(人工歯根)に関しましては、市内の歯科医院と連携して治療を行う計画を立てています。詳細はご相談ください。

外来診療は、患者様にできるだけ待ち時間を少なくする為に完全予約制にしておりますので、当日予約されていない患者様には多少お待ち頂く事がありますがご了承ください。

最後に、う蝕(虫歯)や歯周炎(歯槽膿漏)は、生活習慣病の一つと考えられています。その予防および治療のためには、かかりつけの歯科医院で定期的なメンテナンスが必要です。従って、口腔に関する事で御心配なことがありましたら、まずはかかりつけの歯科医院でご相談し、専門の治療が必要であれば、当科を紹介受診していただくようお願い致します。

「禁煙は 体と自然に おもいやり」

当院禁煙実行委員会が募集しております禁煙標語の最優秀賞に、外来看護師 甲斐節子さんの作品が最優秀賞に選ばれました。

審査は、昨年10月11日に行われた第12回禁煙実行委員会、41の応募作品の中から採点により決定いたしました。

尚、優秀賞には、7階西病棟看護助手・石澤れい子さんの「禁煙で体の中からリフレッシュ」、宮城島副院長の「たばこやめませんか?健康やめませんか?」がそれぞれ選ばれました。最優秀賞はポスターにて掲示しております。みなさま、禁煙にご協力くださるようお願い致します。

薬剤部 梶原 徹

編集後記

ライブドア騒動、耐震偽造騒ぎ、大雪騒ぎなど、今年の始まりは少々不穏です。景気も少し持ち直しているようですが、トリノオリンピックあたりで明るい話がたくさん出てくると良いなと思っています。

神経内科 津坂 和文

昨年からの大雪とインフルエンザにやられない様、うがい・手洗いを続けましょうね。

看護部 深瀬 光枝

寒い・寒い・寒い、早く春よ来い。Jリーグより早くはじまれ

薬剤部 梶原 徹

放射線科RI室で使用する薬品のほとんどが当日、航空便で届いているので千歳の天気が気かりです。

放射線科 高藤 浩一

年も改たまり、今年も元気に編集作業に取り組みます。

リハビリテーション科 田口 暢秀

労災病院に就職して今年で20年を向かえます。髪の毛は薄くなり白髪も染め粉でこまかしています。足元に注意して通院して下さいね!

中央検査科 遊佐 純教